

第7回 日本一 さくらんぼ祭り

ふるさと芸能のつどい

山形県は4つの地域に分かれ、地域ごとに民俗芸能をはじめとする豊かな文化を育んできました。第7回日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」では、各地域から特色のある民俗芸能団体12団体に出演していただき、民俗芸能が持つ豊かな魅力の一端に触れていただきます。

村山

山形市 切畑田植踊



山形市切畑地区に伝承される切畑田植踊は、約150年前に地元の夫婦が伊勢参りに行き、旅のつれづれにおぼえてきたのが始まりです。それ以来地元の若い衆によって引き継がれています。伝統芸能の保存と後継者育成に努めています。

当日の演目／お旦那舞御正月・朝夜幕・オラガ娘・5尺手ぬぐい
定期公演情報／10月28日 11:00～
高瀬紅花ふれあいセンター(高瀬コミュニティセンター)

村山市 富本小学校大黒舞



地域の五穀豊穫や豊かで平和なくらしを願い、子どもたちによって踊り伝えられています。30年以上の伝統をもつ伝承活動として、毎年5年生の6月から練習を始め、地域や市、学校等で広く踊りを披露しています。

当日の演目／大黒舞
定期公演情報／10月中旬 村山市伝承館祭り

中山町 八坂神社倭舞



中山町の八坂神社に伝わる倭舞は元々羽黒神社にまつわる踊りで、家内安全五穀豊穫等を祈願したものです。千代までという演目で中山町の小学生女児達によって奉納されています。日頃の練習の成果を是非ご覧ください。

当日の演目／倭舞千代まで
定期公演情報／4月15日 9:30～
中山町長崎 八坂神社

置賜

長井市 總宮神社の獅子舞



總宮神社の獅子舞は長井の獅子舞の起源と言われています。今から1000年前源頼義が兵士たちに戦勝祝いに境内で獅子舞を舞わせたのが起源と言われています。總宮神社の獅子舞は伝統と史実に基づいた格式の高い獅子舞です。

当日の演目／長井市無形文化財 總宮神社の獅子舞
定期公演情報／9月15日 15:30～ 9月16日 15:30～
總宮神社の境内および市内目抜き通り

小国町 山遊亭金太郎子ども落語



小国町出身の落語家 山遊亭金太郎師匠に学ぶ子ども落語教室は平成17年子ども達の健全育成を願い発足しました。落語を通して伝統芸能に触れ、得意のネタを披露しています。一生懸命演じますので大いに笑ってください。

当日の演目／落語・大喜利
定期公演情報／11月4日 「白い森おぐに 芸能まつり」
おぐに開発総合センター

飯豊町

中獅子踊り



飯豊町中地区に伝わる当会は、豊年満作祈願の踊りを披露しています。大昔、天竺から日本にやってきた3匹の獅子達が、故郷を思いながら踊った事が起源とされています。若さと躍動感のある踊りを是非ご覧ください。

当日の演目／道笛・前の庭・中の庭・後の庭
定期公演情報／8月14日 17:30～
飯豊町中地区各所

最上

新庄市 仁田山鹿子踊



カモシカを模した踊りが起源とされ、その特色ある踊りで県無形民俗文化財に指定されました。曲後半の「狂い」という場面が見どころで、七頭全ての鹿子がそれぞれ大きく位置を変え激しく跳躍します。新庄市内でも二地区にのみ継承されている貴重な踊りです。

当日の演目／入り庭・小倉山・狂い
定期公演情報／8月26日 新庄まつり
戸沢神社、護国神社境内 10:00～
8月15日 仁田山地蔵尊祭 地蔵尊前 18:00～

真室川町 釜湧囃子



戦後の地域を盛り上げようと、近隣の祭囃子を習い覚えたのが始まりです。釜湧山神社の祭礼では、山車とともに勇壮な音色を響かせながら練り歩きます。地元の小学生への指導など、積極的に伝承活動を行っています。

当日の演目／宿渡・羯鼓
定期公演情報／9月13日 12:00～
最上郡真室川町大字釜湧一円

大蔵村 合海田植え踊り

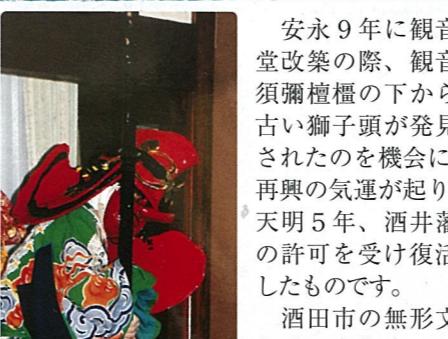


清水城主がひろめたという合海田植え踊りは、約440年の歴史があります。田植えの終わった6月の「さなぶり」に合海地区全戸を訪れ極めて珍しい「門づけ舞い」を毎年披露しています。

当日の演目／合海田植え踊り・大黒舞い
定期公演情報／6月3日 7:00～
大蔵村合海全戸

庄内

酒田市 亀ヶ崎獅子舞



安永9年に觀音堂改築の際、觀音須彌檀檻の下から古い獅子頭が発見されたのを機会に、再興の気運が起り、天明5年、酒井藩の許可を受け復活したものです。

酒田市の無形文化財にも指定されました。

鶴岡市 羽黒太鼓



羽黒太鼓こどもクラブは、昭和60年に設立しました。現在保育園から小学6年生まで約20名で活動しております。元気いっぱいの子供たちが練習の成果を發揮します。応援、どうぞよろしくお願いします！

当日の演目／天狗舞・獅子舞
定期公演情報／4月18日 十一面觀音堂 境内

酒田市 新町稻荷神社獅子舞



新町稻荷神社獅子舞の起源は、江戸時代で酒田湊の玄関口にある新町が「高野浜」と呼ばれていました。毎年正月松の内と8月の例大祭で獅子舞が奉納されます。雄獅子、雌獅子揃って勇壮な舞を披露しています。

当日の演目／三本の舞い
定期公演情報／8月9日・10日 19:00～
新町稻荷神社

日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」によせて

東北文教大学短期大学部総合文化学科 特任教授 菊地 和博



10年以上も前から「ふるさと塾」活動に励んでいる山形の子どもたち。笛や太鼓、舞いや踊りなどの民俗芸能を地域から学び、継承しています。ふるさと・郷土への誇りや愛着心を身につけた子どもたちには、元気そのもの。また優しいまなざしで子どもたちを指導するのは、地域の大人たち。毎年、郷土が誇る芸能を子どもと大人が共に披露する場、それが「ふるさと芸能のつどい」です。今年で7回目を迎え、皆さまの大きな拍手が、さらに地域と子どもを育てます。